

026年3月31日)

証券コード: 9969

# 目次



| 事業内容             |                  | P.3     |
|------------------|------------------|---------|
| 2026年3月期<br>決算説明 | 決算概要             | P.4     |
|                  | 決算ハイライト          | P.5     |
|                  | 売上概要             | P.6     |
|                  | 営業利益増減比較         | P.7     |
|                  | 2026年3月期 振り返り    | P.8     |
|                  | 主要指標の状況          | P.9     |
|                  | 貸借対照表の状況         | P.10    |
| 2027年3月期<br>業績予想 | 2027年3月期 テーマと方針  | P.11    |
|                  | 2027年3月期 業績予想の概要 | P.12    |
|                  | 2027年3月期 取組内容    | P.13/14 |
|                  | 売上高・営業利益の展望      | P.15    |
| 株主優待             |                  | P.16    |
| 配当状況             |                  | P.17    |

# 事業内容



当社では、個人のお客様のご自宅へミールキットをお届けするBtoC事業を主としており、開発・製造・配送を一貫して行う体制を強みとしております。

## 開発



管理栄養士による商品開発  
毎日違う商品をご提案



## 製造



JFS-B23002439-00

安全基準をクリアした製造工場  
柔軟な生産体制



## 配送



自社保有の人員・車両による  
ルート配送



# 決算概要



当通期会計期間の決算概要は下記の通りです。

売上高

4月より実施した値上げにより商品単価は増加したものの、アクティブユーザーの減少により前年度比**99.2%**(予想比**92.0%**)

営業利益

売上高は減少したものの、4月からの値上げと原価管理の徹底を行い売上総利益を確保したことにより前年度比**157.2%**(予想比**24.0%**)

当期純利益

キャッシュレス化に伴う機器設備の除却等の一過性費用を計上したものの、法人税等調整額の減少により前年度に比べ**33百万円の回復**(予想比**△34百万円**)

# 決算ハイライト

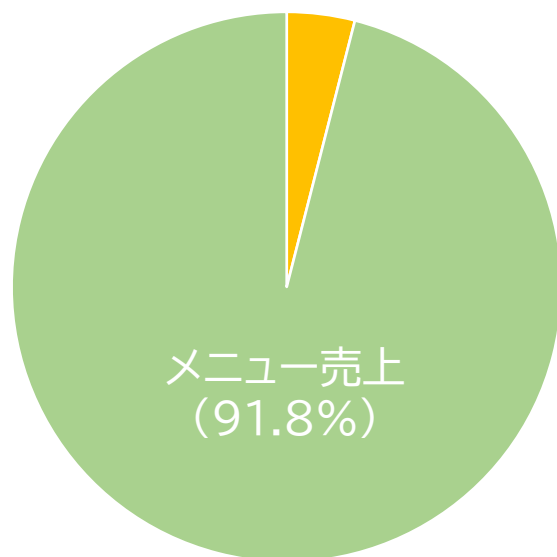


当通期会計期間の決算概要は下記の通りです。

| 単位:百万円               | 2025年3月期<br>通期実績 | 当初業績予想          | 2026年3月期<br>通期実績 | 前年度比   | 業績予想比 |
|----------------------|------------------|-----------------|------------------|--------|-------|
| 売上高                  | 6,057            | 6,531           | 6,008            | 99.2%  | 92.0% |
| 売上原価<br>(売上原価率(%))   | 3,800<br>(62.7)  | 4,021<br>(61.6) | 3,698<br>(61.6)  | 97.3%  | 92.0% |
| 販売費及び一般管理費           | 2,238            | 2,390           | 2,280            | 101.9% | 95.4% |
| 営業利益                 | 18               | 119             | 28               | 157.2% | 24.0% |
| 経常利益                 | 6                | 107             | 17               | 281.7% | 15.9% |
| 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | △65              | 87              | △32              | —      | —     |

当社の売上高は個人のお客様への販売が主であり、その内容は週単位で商品を更新し、よりお客様の生活に密着した「メニュー売上」と、年次イベントや季節性を重視した「特売売上」に二分しております。

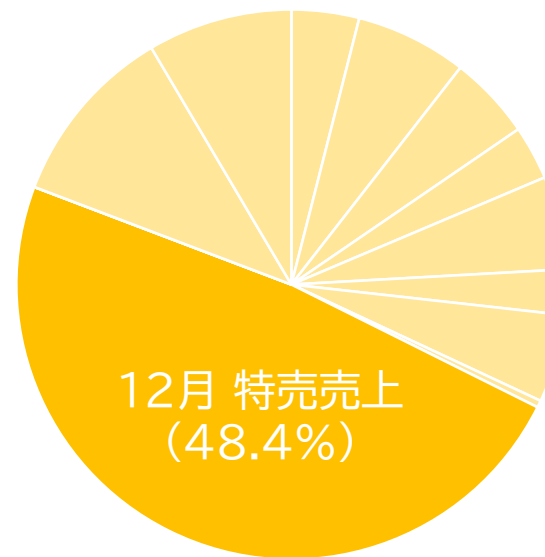
## 売上高の構成比



メニュー売上は、当社売上高の91.8%を占め、各月毎の比重については営業日数の影響はあるものの、大きな変動はございません。

※  
BtoB事業の売上はメニュー売上に含み、その構成比は全体の2.0%

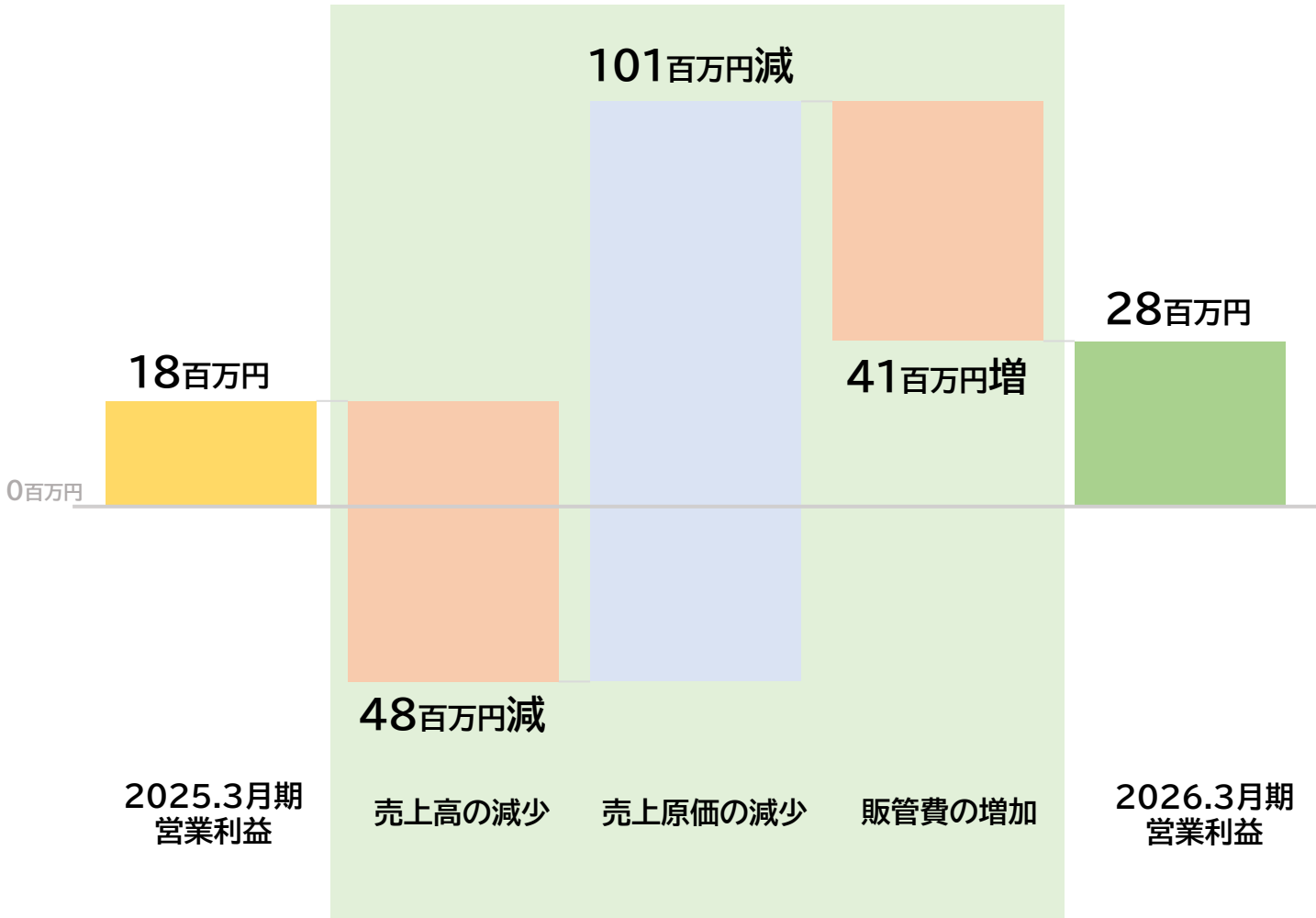
## 特売売上内の構成比



一方で、特売売上は各月毎の変動が大きく、特に年末商戦を含む12月は最も比重が大きく、当事業年度においては年間特売売上の48.4%を占める重要な商機であります。



# 営業利益増減比較



## 売上高

4月に実施した主力商品値上の効果があるものの、顧客数の減少により売上高は前年度より48百万円の減少( $\Delta 0.8\%$ )

## 売上原価

機器設備の修繕費、業務の外部委託費用等が増加したものの、売上高の減少と原価管理の徹底を実施したことにより前年度より101百万円の減少( $\Delta 2.7\%$ )

## 販売費及び一般管理費

従業員の待遇改善、基幹システム入替に伴うランニングコストの増加等により、販売費及び一般管理費は前年度より41百万円の増加( $1.9\%$ )

## TVCMの放映



2025年10月にTVCMを放映。  
認知度向上はもちろんのこと  
「ショクブン」と「夕食」が紐づく内容  
になっております。

## LINE運用強化



既存顧客との接点を強化、次世代のお  
客様獲得に向けて当社LINE公式アカウ  
ントの運用を強化いたしました。

## DM送付

TVCMにあわせて、  
当社をご利用いただいていない方、  
長らくご利用いただけていないお客様  
へDMを送付しました。

## キャッシュレス化

利便性の向上と、現金取り扱いによる事  
故リスク軽減のため、支払方法のキャッ  
シュレス化を実施しました。



## 主要指標の状況



2025年4月より実施した主力商品の値上による商品単価上昇したものの、アクティブユーザー数が減少したことにより前年度比の0.8%減少となりました。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{売上高} \\ \hline \mathbf{0.8\% \text{ 減少}} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{主力商品単価} \\ \hline \mathbf{7.5\% \text{ 増加}} \\ \hline \end{array} \times \begin{array}{|c|} \hline \text{アクティブユーザー数} \\ \hline \mathbf{8.1\% \text{ 減少}} \\ \hline \end{array} \text{ など}$$

4月より実施した値上げと原価管理の徹底により原材料費率が大きく減少した一方、原材料費率の高い米類が販売好調により全体に少し影響を与えることとなりました。

これにより、当社における原材料費率は、43.8%(前年度比△2.2%)となりました。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{原材料費率} \\ \hline \mathbf{2.2\% \text{ 減少}} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{値上・原価管理による影響} \\ \hline \mathbf{3.5\% \text{ 減少}} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{米類受注増による影響} \\ \hline \mathbf{1.3\% \text{ 増加}} \\ \hline \end{array} \text{ など}$$

# 貸借対照表の状況



流動資産  
10億41百万円

流動負債  
16億90百万円

固定資産  
33億55百万円

固定負債  
20億55百万円

純資産  
23億42百万円

## 流動資産

現金及び預金の8億59百万円減少、売掛金が2億14百万円増加したこと等により、6億68百万円減少しました。

## 固定資産

ソフトウェア仮勘定が54百万円増加したものの、リース資産が1億11百万円減少、関係会社株式が55百万円減少、建物が30百万円減少したこと等により、1億26百万円減少しました。

## 流動負債

1年内返済予定の長期借入金が3億48百万円増加、契約負債が13百万円増加したものの、短期借入金が5億円減少したこと等により1億35百万円減少しました。

## 固定負債

長期借入金が4億93百万円減少、リース債務が92百万円減少したこと等により、5億89百万円減少しました。

## 純資産

配当金の支払額38百万円、当期純損失32百万円により、70百万円減少しました。

## 持続可能な収益体制の構築

### 方針 1

#### デジタルシフト化への対応

お客様との接点強化と適切なデータを把握・活用できる体制を目指します。

### 方針 2

#### アクティブユーザー数減少の歯止め

既にご利用いただいているお客様の不満解消・利便性向上を行います。

### 方針 3

#### 収益力の向上

適切で効果的な施策の執行を行います。

# 2027年3月期 業績予想の概要

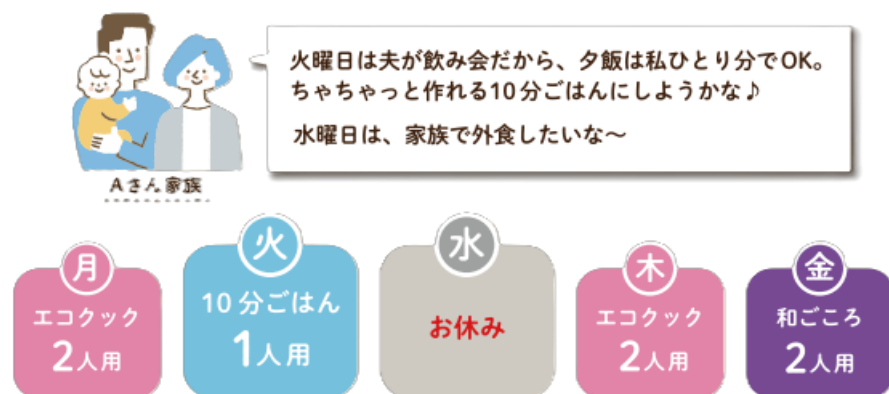


|          |                                                                                |      |      |                     |                    |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------|------|------|---------------------|--------------------|
| 売上高      | 適切なプロモーション施策の実施を徹底、既存顧客の満足度向上、利便性向上を行い<br>新規顧客の獲得と既存顧客の維持により前年度比 <b>102.2%</b> |      |      |                     |                    |
| 営業利益     | 売上高の増加により売上総利益は増加するものの、<br>プロモーション施策・デジタル投資を強化することより、前年度比 <b>150.1%</b>        |      |      |                     |                    |
| 単位:百万円   | 売上高                                                                            | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 一株当たりの<br>当期純利益(円) |
| 通期業績予想   | 6,140                                                                          | 43   | 26   | 2                   | 0.14               |
| 増減(%)    | 2.2                                                                            | 50.1 | 52.8 | —                   |                    |
| 2026年3月期 | 6,008                                                                          | 28   | 17   | △32                 | △2.11              |

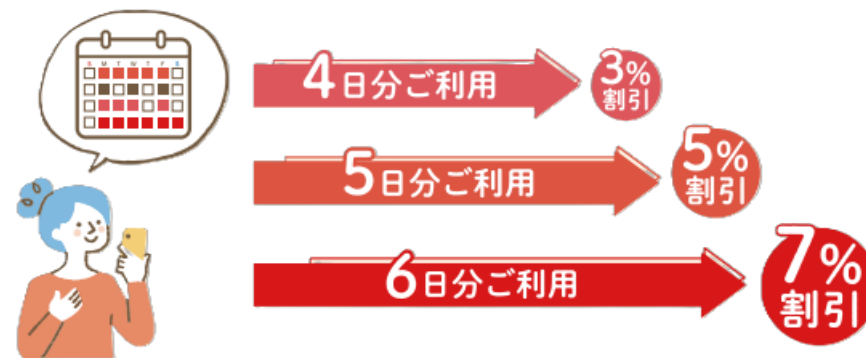
## 2027年3月期 取組内容①



利便性向上を目的として、主力商品である1週間コースの注文方法を変更いたします。  
従来の1週間で定まった献立が毎曜日同じ人数分届くのではなく、各曜日ごとに献立・人数または注文しない曜日を選択でき、より幅広いライフスタイルに対応できるようにいたします。  
3月16日より、ネットショップ限定で試験導入を開始しており、6月15日より本導入をいたします。



様々なご家庭の夕食事情に対応するため、  
お客様ご自身でコースをカスタマイズできる様にし、  
必要な時に、必要な分だけご注文いただけます。



1週間の内、注文する日数によって割引を適用。  
これに伴って、毎週定額となっていた商品を廃止し、  
適切な価格設定と品質の維持を行います。

### ECサイトリニューアル



より見やすく、使いやすいECサイトを構築するとともに、刷新を進めている当社基幹システムと連携させ、顧客情報や属性を迅速かつ高精度に行える体制を整えます。

### 取扱商品の拡充



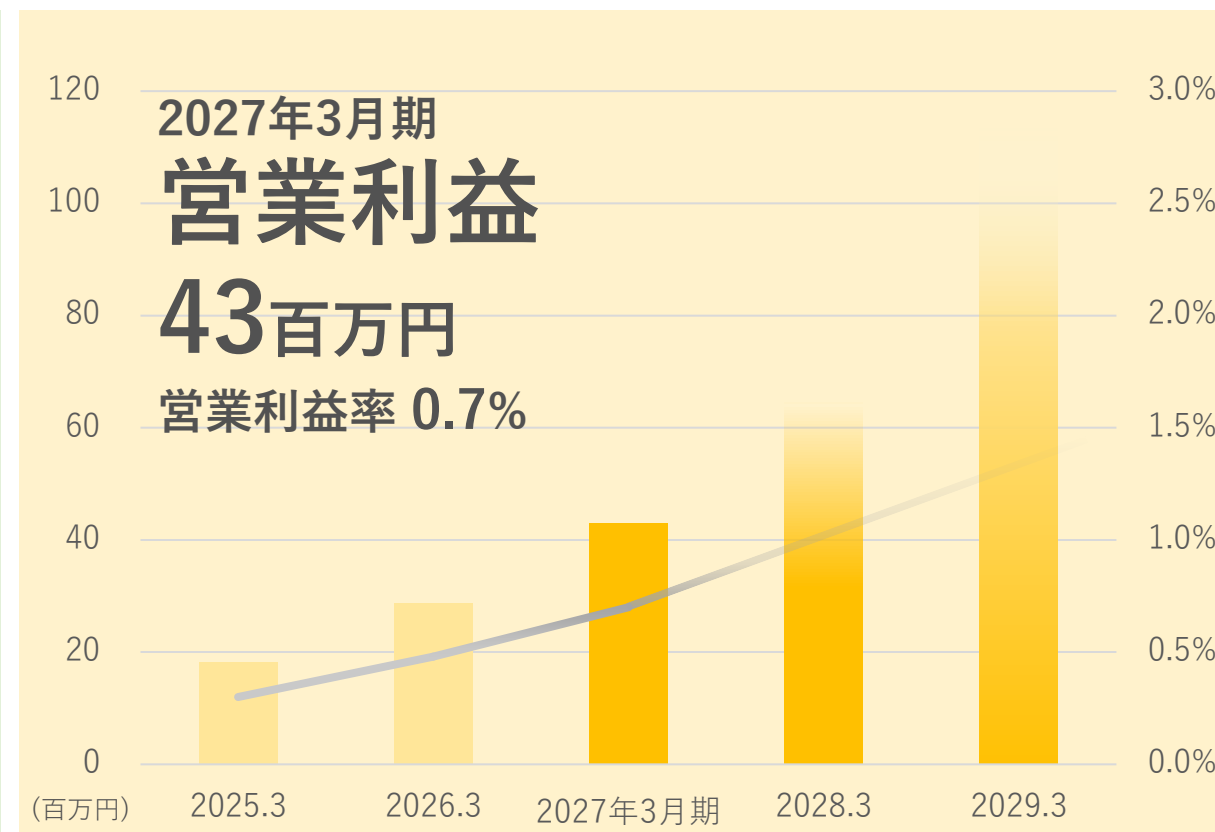
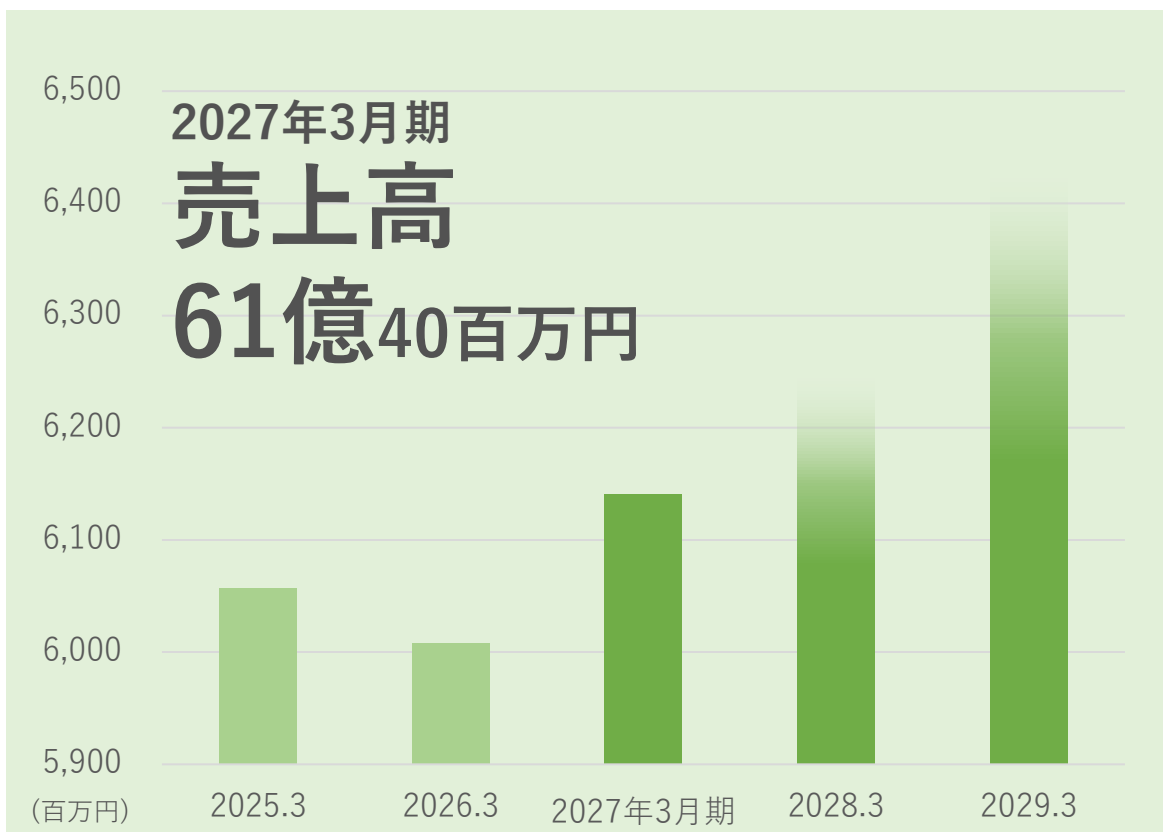
当社の強みを生かしたラストワンマイルにより、食料品以外にも、化粧品やペットフードなどの日常的に消費する商品の取り扱いを開始し、より利便性を高めてまいります。



## 売上高・営業利益の展望



顧客満足度・利便性を向上させ、既存顧客の維持、新規顧客獲得を行い、適切な施策執行による支出管理と材料原価管理を引き続き徹底することにより、2027年3月期と続く2028年3月期以降に向けた収益体制の構築を推し進めてまいります。





当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。

権利確定日：3月末日

発送時期：6月中旬～7月上旬

500株以上1,000株未満

富山県産コシヒカリを使用した  
パックご飯（10パック）

1,000株以上

富山県産コシヒカリを使用した  
パックご飯（24パック）

富山県北アルプスの天然水仕立て  
入善町こしひかりパックご飯

# 配当状況



|                               | 2025年3月期    | 2026年3月期    | 2027年3月期<br>(予想) |
|-------------------------------|-------------|-------------|------------------|
| 単位:円                          |             |             |                  |
| 1株当たり純資産額                     | 157.32      | 152.70      |                  |
| 1株当たり配当額<br>(内1株当たり中間配当額)     | 2.50<br>(一) | 2.50<br>(一) | 2.50<br>(一)      |
| 1株当たり当期純利益又は<br>1株当たり当期純損失(△) | △4.29       | △2.11       | 0.14             |
| 配当性向(%)                       | —           | —           | —                |

## 免責事項

本資料は、資料作成時点において当社が入手している情報に基づき策定しており、当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

また、本資料が基礎とした情報の中には、決算短信及び四半期報告書の財務諸表に基づく財務情報並びに財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれており、いずれも独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていないことをご了承ください。